

## 参加から応募への流れ

家庭（児童や生徒の各ご家庭での取り組み）の省エネ活動を取りまとめて、表彰をめざし東京への切符を手に入れてください。

### アクション1：参加申し込み

<添付の参加申込書を参照>

申込書に記入の上、フリーFAX下さい。

### アクション2：省エネ実践の構想（過去活動でも可能）

- ①テーマ設定 → 実践レポート応募票のタイトル
- ②省エネ実践活動 → 実践レポート本体

### アクション3：省エネ活動の開始（過去活動の場合は思い起こしと整理）

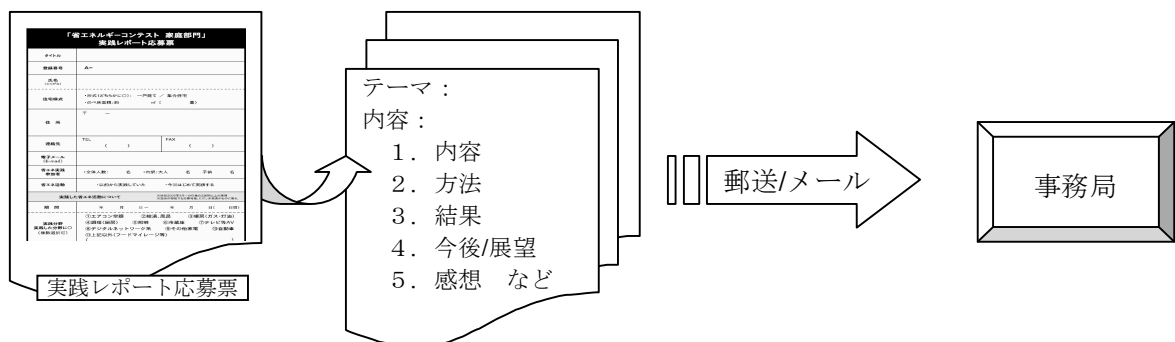
- ①行動の記録 → 実践レポート本体の方法
- ②効果の検討 → 実践レポート本体の結果

### アクション4：投稿用実践レポートの作成（過去活動の応募も可能）

- ①応募票の作成 ⇒ 基礎的属性の記入 <添付の応募票を参照>
- ②実践レポートの作成 ⇒ アクション2・3の作文
  - 1) 内容：経緯や気づき(発想)と省エネ・アイデアの概略
  - 2) 方法：アイデアの日々の実践行動への具体化やアプローチ
  - 3) 結果：取組んだ活動の成果のまとめ

### アクション5：実践レポート投稿による応募（過去活動の応募も可能）

- ①応募票を表紙にして実践レポートを郵送（電子化してメールにて発信）
- ②応募受領確認連絡待ち



### アクション6：審査結果待ち

- ①表彰候補になった場合は事務局より連絡があります。
- ②見事受賞の場合は2月中旬に東京へご招待されます。

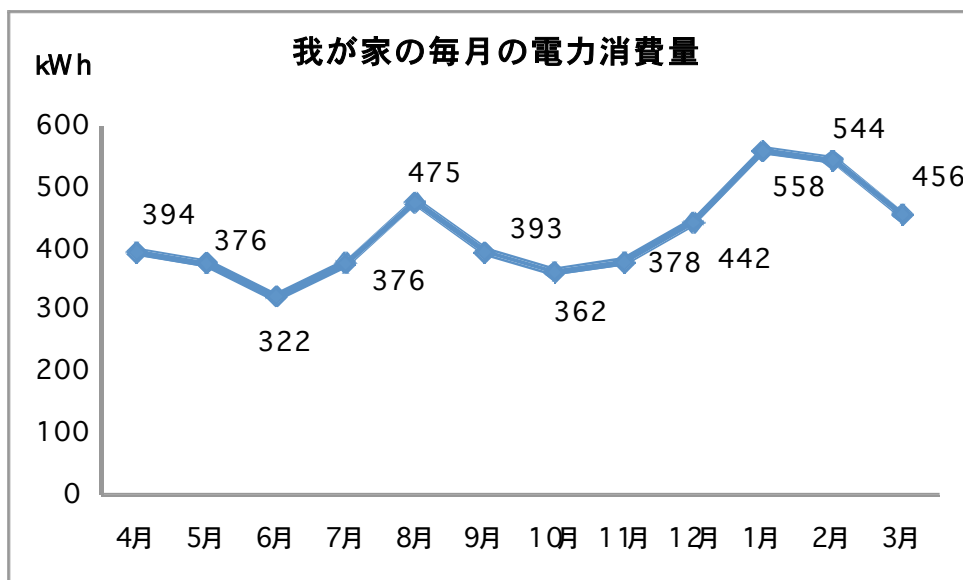




## 省エネコンテスト事例（家庭部門）

テーマ「ちょいエコ省エネで楽しく省エネできました！」

内容：以前から我が家の省エネに取り組みたいと思っていましたが、なかなか取り組むきっかけがありませんでした。そんな中、区の省エネ講演会に参加した時、「まず毎月の電気の使用量をグラフにして、その動きを見てみましょう。」というアドバイスを受けました。そこで我が家の毎月の電力消費量をグラフにすると、夏と冬にたくさん使っていることが分かりました。また冷暖房を使用しない6月や10月も300kWh以上使っていて、一体何に使っているのだろう？と不思議でした。講習会でエコワットを使った簡単な省エネの方法を教えて頂いたので、さっそくそれを実践してみました。省エネという我慢と節約というイメージがあったのですが、今回実践した方法は忙しくて面倒くさがりい私でも楽しくできるメニューでした。その結果、「えっ？こんなことでこんなに省エネできるの！」という目からうろこのものでした。その結果をご報告します。



### 1. 省エネの方法

- ①エコワットを使って同じ月の各2週間ずつ、「何も省エネ行動をしないいつもの生活」と「省エネ行動を実践する生活」で機器の電力消費量を測りました。
- ②月替わりで省エネ行動をする機器を変えて実践したので、飽きずにすることができました。

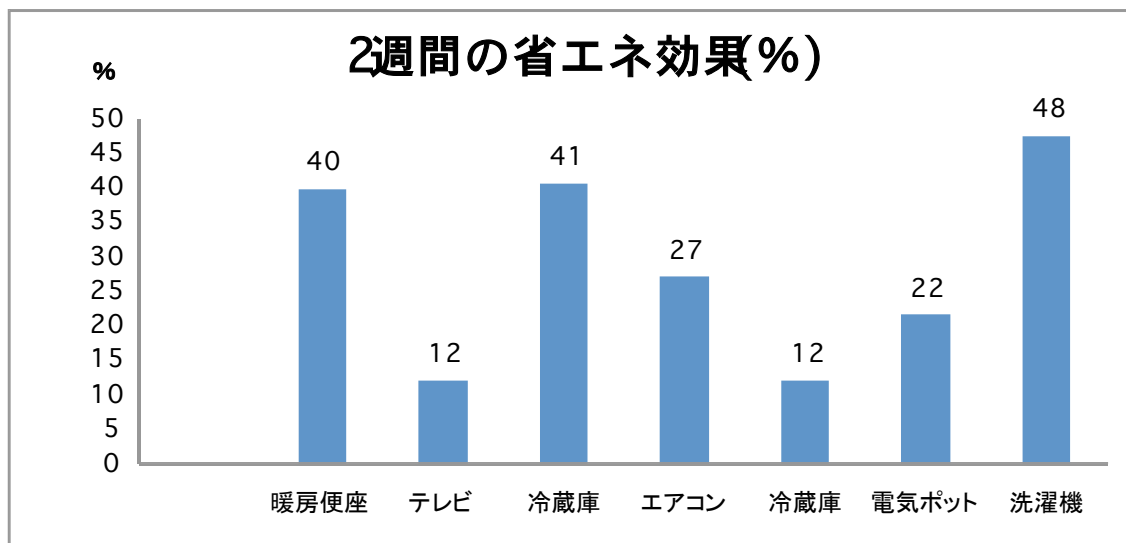
## 2. 省エネの結果

毎月取り組んだ機器と実践した省エネ行動、その省エネ効果を表にしました。

省エネ行動もそれほど難しいものではなく、「一度すればよいもの」がほとんどで、我慢も群れもせず実践することができました。それでもこんなに効果があったのには驚きです。実際にエコワットで測ると、効果が数字で見えるので省エネ効果がよく分かりました。たびたび家族での話題にもなり、ちょっとした家族会議もやりました。個々の家電製品の省エネ効果が分かったので、機器を使かう時のポイントが見えてきました。

次はガスの省エネにも取り組んで行きたいと思っています。

実践した月	対象機器	各2週間の電力消費量(kWh)		2週間の省エネ効果(kWh)	省エネ率(%)	実践した省エネ行動
		普段通り	省エネ行動実践			
2月	暖房便座	6	3	2	40	フタを閉める,外出時にコンセントを抜く
3月	テレビ	25	22	3	12	主電源を切り,待機電力をカット
4月	冷蔵庫	22	13	9	41	温度設定をひとつ上げた
7月	エアコン	81	59	22	27	室外機に日よけをする,フィルターの掃除,自動調節にする
8月	冷蔵庫	39	34	5	12	左側を10cm位あげた
9月	電気ポット	31	24	7	22	温度を98℃設定から85℃設定にした
10月	洗濯機	2	1	1	48	洗濯物の量を少なめにした
合計		205	157	49	24	



添付使用：毎月の電力量のお知らせ